

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
1	東雲小学校の建て替え計画について、説明会を学校の保護者対象にさせていただけるのか	学校等を通じ教育委員会へご連絡をいただければ、それぞれの団体等における会合にあわせて説明する機会を持ちたいと考えていますので、ご連絡をお願いいたします。	教育委員会事務局
2	学校の芝生化について、23・24年度の実績を教えてください。また、どういった形で維持管理しているのか、水のことについても、実績のなかで対策があれば教えてください。	<p>芝生化については、平成23年度に坂本幼稚園、石井保育園、山越保育園、平成24年度は三津浜幼稚園、朝美保育園、浅海保育園、松山市地域交流センター、潮見小学校、平成25年度に雄新中学校、石井幼稚園、道後保育園、栗井保育園の合計12箇所で行いました。</p> <p>また、平成26年度には荏原幼稚園、五明幼稚園、八雲保育園、生石保育園、久米小学校の5箇所での芝生化を予定しています。</p> <p>芝生化には、砂埃対策と熱中症対策、地域の子育て環境の構築、子供たちのコミュニケーション能力や運動能力の向上などの効果があります。</p> <p>芝生化へ取り組むためには、学校、保護者、地域の方々、グラウンドの利用者による芝生を育成するための協力体制の構築、芝生を育成するための水の確保、芝生化により支障が出るスポーツに対する対応などが必要となりますので、こうした条件が整う学校について、芝生化に取り組みたいと考えています。</p> <p>なお、東雲小学校では、改築工事に併せて節水目的の雨水貯留槽を設置する予定です。将来的に芝生化を実施する場合にも、芝生育成のための散水に活用できると考えています。</p>	教育委員会事務局
3	松山赤十字病院の建て替えについて教えてください。	<p>松山赤十字病院の建替えにつきましては、平成26年度から32年度の間で、現在地に加えて、隣接する小学校敷地の一部を松山赤十字病院が買い取り、敷地面積を拡大して建替えを行うことが決定しています。</p> <p>松山赤十字病院は、基幹病院として、救急医療やがん治療など各医療を提供するほか、災害拠点病院の機能を備え、さらに地域の医療機関の後方支援を行うなど、地域医療に重要な役割を果たしている点を踏まえ、今年度、松山赤十字病院の建替えを支援する建設補助を予算計上しています。</p>	保健福祉部

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
4	集中豪雨に対する対策について、現状と今後の計画をお聞きしたい。例えば、道路上に一時的にプールする方法はどうか。	<p>一昨年8月19日の浸水被害は、10分間の降雨量が松山気象台の観測史上最大となる24mm(1時間換算144mm)を記録した大雨が主な原因であると考えていますが、今後の浸水対策の進め方について、前回のタウンミーティング終了後、直ちに地元説明会を開催いたしました。</p> <p>前回ご提案いただいた道路上に一時的にプールする方法は、道路に段差を設けることとなり、自動車や自転車の走行に危険が生じることから困難ですので、すぐに出来る対策として、まず青少年センター周辺の排水に支障をきたしている箇所路面柵を新設する工事を行いました。</p> <p>日赤前の道路浸水対策としては、今年度から着手する『(仮称)松山市教育センター』の地下部分に、道路にあふれた雨水を一時的に貯める雨水貯留施設を建設することで浸水を軽減し、松山東高校周辺の浸水対策についてもゲート改良工事を予定しています。</p>	下水道部
5	東雲公園をコミュニティファームのような形で地域の人たちと一緒に作っていききたい。	<p>ご提案いただきました後にNPO法人えひめグローバルネットワークを中心に、東雲公園の未利用地について、協議を行い、平成25年6月17日から地域の方々、NPO法人、愛媛大学、東雲小学校が参加し、コミュニティファームとして、さつまいもを育てました。</p> <p>今後も引き続き地域の方々に参加をいただいて、地域のコミュニティの場として、また、環境学習体験の場として、利用していただければと考えています。</p>	都市整備部
6	学生マンション、賃貸マンションのごみについては、事業系ごみとして回収してはどうか。	<p>市町村は、その区域内の一般廃棄物を適正に処理しなければならないため、マンション等の集合住宅であっても家庭から排出されるものは、家庭系一般廃棄物として市が収集することになります。</p> <p>なお、一部の集合住宅では、管理者等が自ら住人のごみを回収するサービスを行っているところもあるようですが、費用負担などの課題もあり、市から強制することはできませんのでご理解をいただきたいと思います。</p>	環境部
7	ごみ出しルール違反を抑えるために、市がカメラと録画機のセットを用意して地域に貸し出すなどできないか。	<p>松山市では、ごみ集積場所の管理に関し、適正なごみ出しや日常の清潔の保持に努めていただくよう、地元の町内会等をお願いしています。</p> <p>ごみ集積場所への監視カメラの設置などは、一定の抑止効果は見込まれますが、プライバシーと経費の観点から、現状では難しいと考えています。</p> <p>引き続き、地域の皆様のご協力をいただきながら、ごみ集積場所用啓発看板の設置やチラシの配布などにより、モラルの向上を図る啓発活動を継続していくことが重要と考えています。</p>	環境部

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
8	他地区の地域包括支援センターを利用できないか。	<p>現在、地域包括支援センターは、市内10か所に設置しており、それぞれの地域で民生委員との連携強化が図られ、信頼関係が深まっていることから、現在の体制でセンターの運営を行っていきたいと考えています。</p> <p>なお、地域包括支援センターは、相談される方がお越しになるのを待つのではなく、直接、相談者のもとへお伺いすることを基本方針としていますので、お気軽にご相談いただければと思います。</p>	保健福祉部
9	松山城の景観を守るために高さ制限などを条例で規定できないか。	<p>松山市では、平成20年に良好な松山城の眺望スポットを選定しており、これらの場所から松山城の眺望を確保することが重要であると考えています。</p> <p>また、市役所前榎町通りをモデル地区として、高さ制限を盛り込んだ景観計画区域に指定しました。</p> <p>平成25年からは、市内中心地区での景観計画策定に向けた検討を始めており、勝山通り、一番町通り、南堀端、国道56号、中の川通りに囲まれた区域を、景観計画区域にしたいと考えています。</p> <p>その中でも、永木橋から見える「松山らしい景観」を守るための施策について、高さの制限も含め、市民のみなさまのご意見をいただきながら考えていきたいと思っています。平成25年9月には初めての意見交換会を開催し、様々なご意見をいただいたところですが、今後も引き続き、市民の皆さんと一緒に景観まちづくりを進めていきたいと考えています。</p>	都市整備部
10	市営持田住宅跡地利用はどのような計画になっているのか。 南町からの道路が狭く、危険なのでそういうことも考慮して利用計画を立てていただきたい。 松山市独自の児童相談所はどうか。	<p>持田住宅跡地利用については、松山市公有財産有効活用検討委員会で検討した結果、一部は、松山市の管理地として使用し、それ以外の土地については売却の方針となりました。現在は、売却の為の土地の測量等を行っています。</p> <p>周辺の道路整備については、沿道の皆さんの同意を得た上で、今後検討したいと考えています。</p> <p>松山市単独の児童相談所を設置については、現在予定はありませんが、今後も愛媛県と松山市が、それぞれの役割や専門性を生かし、連携を図ることで、適切に対応をしていきたいと考えています。</p>	都市整備部 保健福祉部

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
11	ロープウェイ街駅舎前を休日に通行止めにして市をするなどにぎわいをつくっていききたい。	今回のご提案については、まず、地元の方々からイベントの内容や開催回数、時期などをご検討・ご提案いただき、警察等の関係機関とも協議しながら、多くの市民の方々に楽しんでいただける取り組みとなるよう、一緒に検討していききたいと思います。	産業経済部
12	東雲神社下から平和通りにかけての西一万商店街の歩道が非常に狭い、広くできないか	この道路は、平成10年に当時の歩道整備基準に基づいて、整備を終えています。沿道には多くの家屋や商店が建ち並んでいることから、再び道路を拡幅することは困難な状況にあります。 現在、歩道については、歩行者や自転車等の利用が多いため混雑した状況にありますが、この区域は戦災復興で区画整理を行い、周囲に区画道路が整備されていることから、歩行者や自転車がこれらの道路に分散するような方法等を今後研究していきたいと考えています。	都市整備部
13	歩いて暮らせるまちづくりに非常に期待している。東雲地区を荒廃したまちにしないようお願いしたい	少子高齢化の進行や人口減少社会の到来など、松山市を取り巻く環境は大きく変化している中で、松山市においては、「持続可能な都市」の実現に向けて、効果的・効率的でコンパクトな、公共交通の利用を促進する都市づくりを進めます。 東雲地区をはじめ、中心市街地での安全・快適な歩行空間の形成、賑わいの創出など、都市を改変することによる住みやすい・暮らしやすいまちづくりに努めていきたくと考えています。 また「歩く」ことは健康増進に繋がり、医療費も削減されると言われています。今後も歩行回遊を支援・促進するための道路空間の再配分など、「歩いて楽しい健康増進」のまちづくりを進めていきますので、皆様のご協力をお願いいたします。	都市整備部
14	坊っちゃん列車を郊外線にも走らせたなら人を呼び込む一助になると思うので提案したい	ご意見を、伊予鉄道株式会社にお伝えしたところ「坊っちゃん列車と郊外電車は、車両重量や走行速度、ホームの高さなど、様々な構造・規格が異なるので、同一線路上での運行は難しい。」との回答をいただきました。 坊っちゃん列車を郊外線に走らせることは難しい状況ですが、本市の観光資源の一つである坊っちゃん列車を支えていただければと考えています。	都市整備部